



ご意見・ご要望を
お聞かせください

まつざき真琴 県議会ニュース

日本共産党

2016年
12月31日号

発行/日本共産党鹿児島県議団
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 TEL/FAX 286-3977
E-mail kengidan@jcp-kagoshima.com HP <http://jcp-kagoshima.com>
Facebookページ『日本共産党鹿児島県議団』への「いいね!」をお願いします。



2016年が終わります。12月議会では、川内原発の再稼働の問題や知事のマニフェストに対する議論が行われました。詳しくは次号で報告します。

川内原発

専門委員会が 設置される

三反園知事の公約にあった、原子力安全専門委員会が設置され、12月28日に開催されます。まつざき県議は、12月議会において、この委員会開催のための補正予算に対して、次のように賛成討論を行いました(下記参照)。第1回専門委員会の内容については、次号で報告します。



賛成討論からの抜粋

(中略) 本県に設置される検討委員会は、この福島原発事故の現実から出発すべきです。規制委員会の委員長も「100%安全と言えない」と明言し、新規制基準は過酷事故を想定し、放射性物質の放出を前提としたものになっているという現実を踏まえ、地震大国日本において、県民の安全と安心のために、未来の鹿児島のために、今、川内原発はどうあるべきか、それぞれの専門家が科学者としての良心に従って、議論を行う場であるべきです。そのことを強く期待し、本議案に賛成するものであります。



こども医療費 「窓口負担ゼロ」 の実現をめざして

12月19日、『3つの医療(乳幼児医療費、ひとり親家庭医療費、重度心身障害者医療費)の窓口無料で安心して医療が受けられるかごしまをつくる会』のみなさんが、窓口負担ゼロの実現を願って、三反園知事に署名を渡しました。

現在、鹿児島県では、病院の窓口で、一旦支払ったあと、就学前までの児童を対象に、月に3千円を超えた分が、2~3ヶ月後に戻ってくる仕組みです。市町村によっては、高校卒業まで無料のところもありますが、いずれも、一旦支払った後に戻ってくる仕組みです。「3つの安心をつくる会」のみなさんは、これまでも、「窓口負担ゼロ」をめざして署名活動に取り組んでこられました。署名を受け取った三反園知事は、「来年は子育て支援の年にしたい」と語りました。一日も早い、「窓口負担ゼロ」の実現が待たれます。



1100名分の署名を受け取る三反園知事



9名の県議も同席しました